令和８年度 学校通信⑧号
令和８年１０月３０日発行
都立墨東特別支援学校
校長 石川　拓

墨東の学び

【B】おめでとう！
第 28 回 全国院内学級絵画展覧会に入賞！

「病院訪問つばさ学級」「いるか分教室」の児童・生徒が、入選・入賞をしました。本人、御家族にとって、嬉しい知らせになったことでしょう。

本校のホームページに展覧会のリンクを貼りました。次の➡か、スクリーンショットをクリックして、展覧会をお楽しみください。心が軽やかになる作品たちです。作品名も楽しいです。➡こちらへ



○病院訪問つばさ学級	
小４児童	入選
中１生徒	佳作
○いるか分教室	
小２児童	銅賞
小４児童	銀賞
小５児童	入選

応募作品が入選・入賞しました！



後期の学習の充実と進級・卒業に向けて

保護者面談では、後期の学習計画について担任と対話を重ねていただきありがとうございました。具体的な学習のねらいや取組を対話することで、目指していきたい将来の生活像が形作られていくはずです。何を目指して、どのような学びを重ねるのかを、本人・保護者の皆さんと共有しながら、後期の学習を進めていきます。

現在、校長と副校長が、進学のための準備を行っている生徒の面接練習を行っています。面接練習が終わると講評をします。



講評では、高得点を取るためのコツを教えるだけでなく、本人が面接練習の中で答えた夢や希望をもつきっかけや理由について少し対話をしながら聞きます。

ある生徒は「(以前) 家族に褒めてもらったことが嬉しかったから」と答えました。

ある生徒は「障害のある人たちの役に立てることをやりたいから」と答えました。

生徒が重ねてきた、十数年の精神生活の中で練り上げた希望なのだと感じました。きっと、自分の言葉で、生まれて初めて表明したことだったのではないかとも考えました。

進級・卒業・進学・就職に向けて、同年齢の児童・生徒の多くが進路選択に向けて経験することを、特別支援教育の中でも同じように経験させたい。それは児童・生徒の人権を尊重することでもあって、児童・生徒が、人生の主人公になれるように学ぶ機会を生み出すことでもあると思います。自分の考えに向き合って、自分がやってみたいことを表明する機会を得ることで、人は省察(リフレクション)して、自身の希望や期待を自覚できるようになるからです。このことも「意思決定支援」の一つです。意思決定の機会を学びの手続きの中に設けることで、学びの質が必ず高まると実感しています。

10月28日に、関東地方に木枯らし一号が吹きました。あっという間に冬、そして春になります。

２学期３学期と進路指導やキャリア教育を進めていく中で、大人の都合だけではなく、「児童・生徒自身が納得できているか」を大事にして、取り組んでまいります。

学校評価アンケートへの御協力をお願いします

11 月 13 日(金)に、第二回学校運営連絡協議会の開催を予定しています。学校経営支援の役割を担う 11 人の委員の皆さんに、今年度の学校の取組を評価するための学校評価アンケートの内容や方法を検討いただきます。第二回の学校運営連絡協議会の後に、保護者の皆様には学校評価アンケートの御協力をいただく予定です。

学校評価アンケートの実施は 11 月中旬頃を目指して準備中です。

昨年度の学校評価アンケートの保護者回答率は 62%でした。学校への期待や関心を高めていただけるように努めて、80%以上の保護者の皆様から評価をいただきたいと考えています。

学校評価アンケートは学校を良くするために行うものです。アンケート結果は、年明けに開催する第三回学校運営連絡協議会にて、令和 9 年度の学校経営の改善に向けて、委員の皆さんが学校に対して「提言」する内容の根拠になります。

あらためて御案内いたします。ぜひ御協力ください。

児童・生徒玄関のモニターで給食調理員の活躍を放映中です

給食試食会の際に紹介いたしました、美味しい給食の提供を支えている「給食調理員の活躍」を、児童・生徒玄関のモニターでお伝えしています。

来校の折に、ぜひ立ち止まって御覧ください。

本校には栄養士が 2 名配置されています。栄養士は給食の献立を考えること、安心・安全な食材を調達すること、給食調理員に様々な指導導・助言を重ねて美味しい給食を提供することなどに日々取り組んでいます。

卒業が近づいてくると、栄養士と保健給食部が卒業学年等のリクエスト給食を行います。

X ポストでもお伝えしていきます。



校長　石川　拓

【S】高等部の取組　　武蔵野大学との交流

今年度高等部では、3 年生が武蔵野大学の学生と 5 月から 2 月までの間で計 5 回の交流を行います。7 月に行われた 1 回目の交流では、互いに自己紹介をした後、ボッチャを楽しみました。お互いすぐに打ち解け、笑顔で声を掛け合いながら交流を深めることができました

この活動は次のねらいを立てて行っています。

同年代の学生と交流することで
〇相互理解を図ること
〇様々な人と交流をする社会経験を積み、卒業後に必要とされる力を養うこと

9 月に実施した 2 回目の交流では、交流前に武蔵野大学の学生を対象に、体育館で車いすのサポート講習と体験を実施しました。続いて、自己紹介交流ゲームを行い、指定された人数の小集団を作って、お互いに自己紹介し、交流を深めるレクリエーションを行いました。

「普段どんな学習をしているの？」

「好きなものはなに？」など、会話もはずんで交流を深めていきました。

参加した学生は、障害のある方への理解を深めるとともに、適切な支援の方法や日常生活に存在するバリアへの気付きを得て、共生社会について考える貴重な機会となりました。

10 月には小6・中3・高3が制作した絵馬が展示されている「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭」を一緒に参観しました。活動を共にすることで、親交がさらに深まり、作品について感想を伝え合いながら芸術に親しみ、互いの理解を深めました。

今後、武蔵野大学の学校見学を行う予定です。





主幹教諭　田中　剛

【お願い】墨東祭での Teams 配信について

11 月 27 日（金）、28 日（土）はいよいよ墨東祭です。

墨東祭は、本校に在籍する全ての児童・生徒、保護者等が参加する行事です。そのため、様々な御事情で学校に登校できない児童・生徒が Teams を使って墨東祭に

参加・学習することができるよう、当日は担当教員が該当の児童・生徒に向けて配信する場合があります。

劇発表や買い物、アトラクションの場面で、教員がデジタル機器を使って撮影している場面を見かけることがあると思いますが、これは現在の様子を映像で送り、学習を行うための配信です。配信の際には在宅等で視聴する児童・生徒以外には映像を配信いたしませんので、御了承いただければ幸いです。

御不明な点や御不安な点がございましたら、いつでも学校に御連絡ください。

主幹教諭　平田　勝雄

【S】駐車場整備工事　工期延長について

本校では夏季休業中に中庭及び通路の整備工事を完了し、現在はグラウンドを駐車場として整備するための工事を進めております。当初、工事は11月下旬に完了予定としておりましたが、雨天等の影響により工事が予定どおり進まず、工期を令和8年12月末まで延長することとなりました。

墨東祭までに工事を完了することができず、御不便と御心配をお掛けしますことをお詫び申し上げます。墨東祭での対応は別途ご案内予定です。御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



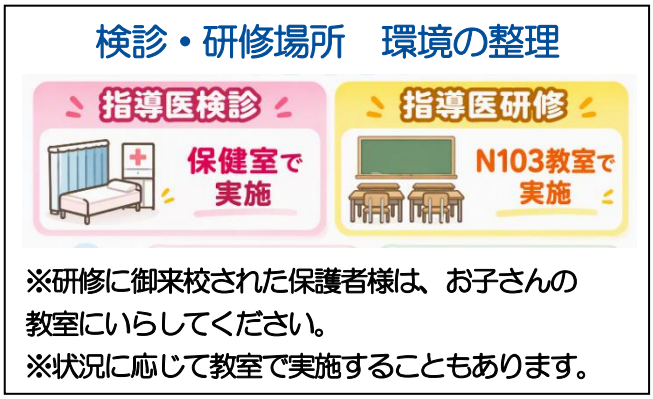


経営企画室長　石田友紀子

医療的ケア児の保護者負担軽減に向けけた取組（経過の御報告）

医療的ケア児の保護者負担軽減に向けて、9月1日発行の「墨東の学び　5号」でお知らせした内容について、現在の進捗状況を御報告いたします。

1 教職員の医療的ケア実施者を増やす対策



現在、指導医研修は、指導医がそれぞれの実施場所（教室）へ出向いて行っています。今後は、指導医の移動にかかる時間をできるだけ短くし、その分をお子さんの検診や研修の時間に充てることで、一人でも多くのお子さんに必要な機会を確保できるよう、実施方法を見直していきます。

本校には4名の指導医がおり、年間54日の来校を予定しています。10月までの30日の来校の中で、次の回数の検診・研修等を実施しました。

研修145回、検診59回、健康相談29回

検診と研修を合わせると233回となり、1日当たり平均6～7回実施しています。全てのお子さんに必要な機会を十分に確保するには、限られた時間を更に有効に活用していく必要があります。

現在61名のお子さんについて208項目の検診・研修を進めています。お子さんの体調によっては、当日に予定していた研修を延期・中止することもあります。その際に生じた時間を、急きょ予定のなかったお子さんの検診・研修に充てるなど、指導医の来校時間をできるだけ有効に活用できるよう、実施方法を工夫していくことが課題となっています。

保護者の皆様には、取組の趣旨を御理解いただき、引き続き御協力くださいますようお願いいたします。

現在、校長が中心となり、より多くのお子さんに必要な検診・研修の機会を確保するため、指導医の増員に向けて関係機関への働き掛けを進めています。

2 非常勤看護師増員の対策

11月から、6名増員し、28名体制となります



今後も　医療的ケアや専用通学車両の運行状況を踏まえ、学校看護師の配置が必要な時間帯を丁寧に確認しながら、より安定した体制づくりに向けて募集を続けてまいります。

3 専用通学車両に乗車できる看護師確保の対策

現在、本校では14台の専用通学車両を運行し、28名のお子さんが利用しています。

医療的ケアに対応するため、13名の学校看護師がローテーションを組み、専用通学車両に乗車する体制をとっております。

専用通学車両に乗車する学校看護師は、勤務時間等の条件から、必要な人数を確保することが難しく、特に早朝の登校便に対応できる学校看護師の確保が課題となっています。

現在は以下の体制で対応しています。

○早朝（7時１５分～7時４５分）学校出発の便
　乗車可能な学校看護師４名のうち、１～２名が乗車
○その他の登校便・下校便
　乗車可能な学校看護師９名のうち、１～４名の看護師が、登校便または下校便のいずれかに乗車
※これらの学校看護師がローテーションを組みながら、日々の運行に対応しています。

限られた学校看護師をできるだけ適切に配置するために次の手順で調整を行っています。

１お子さんの専用通学車両の利用(乗車)予定日を確認
２訪問看護ステーションの看護師の乗車可能日を確認
３学校看護師の勤務状況を踏まえて配置を調整
４訪問看護師・学校看護師の配置ができない便については、保護者乗車として運行表を作成し、各御家へ配布

学校看護師の配置や保護者の方への乗車のお願いについては、回数や状況を確認しながら、特定の御家庭に負担が偏らないよう、できる限り公平に調整しています。しかしながら、専用通学車両に乗車できる看護師の確保は依然として厳しく、御家庭に乗車の御協力をお願いせざるを得ない現状です。

一度決定した運行予定表についても、看護師の急な体調不良等により予定していた便に乗車できなくなった場合には、該当する御家庭へ速やかに御連絡し、その後の対応を御相談させていただきます。

○学校看護師が乗車できなくなった場合
　→ 学校から御連絡します。
○訪問看護師が乗車できなくなった場合
　→ 訪問看護ステーションから御連絡します。

お子さんの安全な通学を第一に、今後も学校看護師の確保と安定した運行体制づくりに努めてまいります。保護者の皆様には、現在の状況を御理解いただき、引き続き御協力くださいますようお願いいたします。

副校長　藤井　夢